



北陸新幹線越前たけふ駅入線歓迎セレモニー

開業まであとわずか 期待感はずばり

半世紀にわたる悲願の北陸新幹線開業まであとわずか——。2024年3月16日の敦賀までの延伸開業を目指して準備が進められている。交流人口の増加や経済波及効果に期待が高まる中、延伸区間の6駅では趣向を凝らした駅舎が建設され、周辺の開発など受け入れ体制が整ってきた。

2015年3月、北陸新幹線の長野—金沢間が開業したことで北陸地方が首都圏とのアクセスが大きく改善し、訪れる観光客やビジネス客が大幅に増加した。今回の延伸によって東京駅と福井駅の所要時間は最短で2時間51分に、敦賀駅との間は3時間8分となる。新たに新幹線が停車する6つの駅の周辺では開業に向けて準備が着々と進められている。金沢の開業効果を目の当たりにした県民は、この開業効果が再び福井にと期待感はずばりだ。

10月1日には北陸新幹線の車両「W7系」の歓迎式典が開かれた。会場となった県内4駅では車両が入線するとくす玉が割られ、歓声が沸き起こり、笑顔が広がった。新幹線が走る日常が一気に現実味を帯び、集まった県民は期待に心を弾ませた。